

提供日 2016/12/09  
 タイトル 平成27年度総合特別区域の国の評価結果について  
 担当 政策企画部政策推進局地域振興課 経済産業部商工業局  
 新産業集積課  
 連絡先 内陸フロンティア推進班・新産業集積班、技術振興班  
 TEL 054-221-3531・054-221-2278



Shizuoka Prefecture

## 平成27年度総合特別区域の国の評価結果について

### 1 要旨

平成27年度の総合特別区域の取組に対する内閣府による評価の結果、本県関係の3区域は、下記の各分野において、全国1位の評価を受けた。

#### (1)「まちづくり等」分野の評価結果

順位	特区名	指定自治体	評価結果
<u>1</u>	<u>ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区 (内陸のフロンティアを拓く取組)</u>	<b>静岡県</b>	<u>4.4</u>
2	持続可能な中山間地域を目指す自立的地域コミュニティ創造特区	新潟県長岡市	4.1
3	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	千葉県柏市	3.9
4	健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区	新潟県見附市等	3.5
5	中心市街地と田園地域が連携する高松コンパクト・エコシティ特区	香川県高松市	3.4
6	鳥取発次世代社会モデル創造特区	鳥取県	2.2

#### (2)「ライフ・イノベーション」分野の評価結果

順位	特区名	指定自治体	評価結果
<u>1</u>	<u>ふじのくに先端医療総合特区</u>	<b>静岡県</b>	<u>4.5</u>
2	さがみロボット産業特区	神奈川県	4.2
3	とやま地域共生型福祉推進特区	富山県	4.1
4	東九州メディカルバレー構想特区	大分県等	4.0
5	健幸長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区	新潟県見附市等	3.9
5	先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区	徳島県	3.9
7	地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区	滋賀県	3.8
8	みえライフイノベーション総合特区	三重県	3.6

9	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	千葉県柏市	3.5
10	岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区	岡山県岡山市	3.4
11	かがわ医療福祉総合特区	香川県	3.2
12	国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区	大阪府等	3.0
12	群馬がん治療技術地域活性化総合特区	群馬県	3.0

### (3)「国際戦略総合特区」分野の評価結果

順位	特区名	指定自治体	評価結果
<b>1</b>	<b>アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区</b>	<b>愛知県、静岡県等</b>	<b>4.8</b>
2	グリーンアジア国際戦略総合特区	福岡県等	4.4
3	関西イノベーション国際戦略総合特区	大阪府等	4.3
4	つくば国際戦略総合特区	茨城県等	4.2
5	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区	北海道等	4.0
6	アジアヘッドクォーター特区	東京都	3.6
7	京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区	神奈川県等	3.1

## 2 評価の内容

### (1) ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(内陸のフロンティアを拓く取組)

項目	評点
(1) 目標に向けた取組の進捗に関する評価	4.7
1) 取組の進捗	4.5
2) 取組の方向性に対する評価	4.8
(2) 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価	4.4
1) 規制の特例措置を活用した事業等の評価	4.5
2) 財政・税制・金融支援に関する評価	4.3
3) 地域独自の取組の状況の評価	4.5
(3) 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価	4.3
<b>総合評価 ((1)+(2)+(3)×2)/4</b>	<b>4.4</b>

#### 【専門家所見】

- 特区事業全般について順調に進捗しており、県独自の推進制度の創設、規制緩和や条例制定、支援体制強化等の地域独自の支援措置の充実、多面的な取組の効果が県内各地に拡大している点が評価できる。
- 津波対策施設の整備は計画通り進んでいないが、景観・産業との利益衡量や住民同意取り付けの難しさに主な原因があり、取組の方向性に問題があるとは言えない。
- 駿河湾港港湾取扱貨物量の増加については、他港湾との比較優位をもっと打ち出す必要があり、関係各所との連携や対応を行い、今後の発展を期待したい。

(2) ふじのくに先端医療総合特区

項目	評点
(1) 目標に向けた取組の進捗に関する評価	4.7
1) 取組の進捗	4.7
2) 取組の方向性に対する評価	4.7
(2) 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価	4.3
1) 規制の特例措置を活用した事業等の評価	4.0
2) 財政・税制・金融支援に関する評価	4.0
3) 地域独自の取組の状況の評価	5.0
(3) 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価	4.4
<b>総合評価 ((1)+(2)+(3)×2)/4</b>	<b>4.5</b>

【専門家所見】

- 産官学の連携が良好で、多面的な支援策が相互に関連しながら事業が進展するなど、当初の目標を超える展開も見られる。
- 本特区で開発された医療技術・製品の生産、利用によりどのような影響が地域経済にあったかについても分析を行うことが望まれる。

(3) アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区

項目	評点
(1) 目標に向けた取組の進捗に関する評価	5.0
1) 取組の進捗	5.0
2) 取組の方向性に対する評価	5.0
(2) 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価	4.7
1) 規制の特例措置を活用した事業等の評価	4.7
2) 財政・税制・金融支援に関する評価	4.7
3) 地域独自の取組の状況の評価	4.7
(3) 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価	4.8
<b>総合評価 ((1)+(2)+(3)×2)/4</b>	<b>4.8</b>

【専門家所見】

- 航空機・部品の生産高については着実な成果につながっている。また、航空機類輸出金額の増加、工場等の新增設件数とともに着実に航空産業の立地誘導につながる成果を上げていることが高く評価される。さらに、民間と行政との協調も良好であり、成功例の典型と言える。MRJの早期運航に期待している。
- 我が国の航空機産業の将来像が必ずしも明確ではないなど、不安材料はある。民間機を主体とした航空機産業の将来像、ビジネスモデルを描きつつ、自動車産業と並ぶ産業技術集積を創っていくことが求められる。
- 航空機産業における低炭素化に挑戦することも大きな課題。

※ 評価の詳細は以下のアドレスから参照してください。

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/sogotoc/jigo\\_hyouka/h27\\_kekka.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/sogotoc/jigo_hyouka/h27_kekka.html)